

本翻訳はロシアNIS貿易会監修による仮訳である。
2023年2月11日付『中立トルクメニスタン』紙第38-39号掲載の露文資料および
トルクメニスタン政府ウェブサイト (<https://turkmenistan.gov.tm/ru/post/69820/rasshirenoe-zasedanie-kabineta-ministrov-turkmenistana-15>) 掲載の露文資料に基づく。

トルクメニスタン拡大閣僚会議
(2023年2月10日)
(2023年2月11日付『中立トルクメニスタン』紙第38-39号)
(抜粋)

本日、セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、拡大閣僚会議を開催した。会議では2022年の国家の経済発展の総括が行われ、各副首相および各省大臣・各州知事・アシガバート市長の報告が行われた。また、今年度の社会経済発展の見込みや人事も議題に上った。

会議には、国会、各地方および首都の行政機関、高等教育機関、マスメディアの代表者らが招待された。

議題を発表した後、トルクメニスタン元首は、閣僚会議副議長のH.ゲルディムイラドフ副議長に発言を譲り、副議長が2022年のトルクメニスタンの経済発展について報告を行った。

報告されたように、国のさらなる発展に関する包括的な施策は、順調に実施され、すべての経済セクターおよび地域で、ポジティブな傾向を促進している。

昨年のマクロ経済指標、特に6.2%という安定したGDP成長率は、その明白な証左である。この指標は、工業部門で6.3%、建設部門で0.3%、運輸・通信部門で4.5%、貿易部門で8.9%、農業部門で5.7%、サービス部門で7%増加した。

データでは、2022年の総生産額は2021年と比較して11%増加した。経済の各部門でプラスの生産指標が達成された。

当期については、小売業の成長が注目されている。2021年と比較すると、去年は10.8%増加し、貿易高は32.9%増加した。

2021年と比較すると、国内の大・中企業の給与は10.4%増加している。会計年度中、賃金、年金、国家給付、奨学金は全額期限内に支給された。

2022～2028年のトルクメニスタンの社会経済発展に関する大統領プログラムにおいて、当該期間中に関連作業が実施された。

さらに副首相は、各省、各分野の所管官庁、州庁、アシガバード市役所とともに起草した「2023年の国家社会経済発展プログラム」の草案について報告を行った。

報告されたように、草案では、7年計画である大統領プログラムおよび今年度の国家予算に基づき、予想マクロ経済指標および経済の全セクターにおける生産計画が定められ、実施のための具体的な作業と活動の概要、各州およびアシガバード市の社会経済開発の指標が立案されている。また、住民の社会・生活環境の将来的な改善に向けた実践的なステップについても規定されている。

続いて、M.セルダロフ財政・経済大臣が、国家予算の執行、投下資本、2022年の国家農村プログラムの実施状況について報告を行った。

報告されたように、2023年1月1日現在、主要財政計画における歳入部分の実行は125.8%、歳出部分の実行は99.9%であった。

当該期間中、地方予算の歳入部分の実行は120.1%、歳出部分の実行は99.8%であった。また、国家農村計画の実施状況に関する情報も報告された。

続く会議の中で、セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、他の職務への転任のため、M.セルダロフを現職から解いた。トルクメニスタン元首は、S.ジョラエフを財務・経済大臣に任命し、副大臣の職を解いた。

会議中、セルダル・ベルディムハメドフ国家元首は関連する政令に署名を行った。

続いて、中央銀行のT.マリコフ総裁が、2022年の業務結果と、国内の銀行業務改善のために取られた実務措置に関する報告を行った。

今年1月1日時点で、銀行が行った融資残高は7.6%増、民間部門へは28.2%増、農業生産者へは1.3倍、住宅ローンは9.4%増と報告された。

2023年1月1日現在、金融機関の収入は12.2%増加した。

統計国家委員会のD.アマンムハメドフ議長は、各省庁や各分野の所管官庁による2022年の計画指標の達成率について報告を行った。

セルダル・ベルディムハメドフ大統領の指導のもとで実施された、熟考されバランスのとれた国の発展戦略は、政治、経済、社会、その他の分野でダイナミックな進歩を確実なものにした。実施された包括的な施策のおかげで、同期間中、あらゆる経済セクターでポジティブな指標が達成された。

2022年には、天然ガス・石油の生産、電力の生産・輸出が増加した。2021年との比較では、各種石油製品のほか、液化ガス、セメント、ミネラル肥料、食品の生産が、報告期間中に増加した。

運輸・通信分野では、安定した指標が確保されたことが、あらゆる輸送手段による貨物・旅客輸送量によって確認されている。通信サービスの量は7.9%増加した。

2021年と比較して、2022年には農業コンプレックスにおける野菜、ベリー類および果実、ジャガイモ、肉、牛乳の生産量が増加した。

経済の民間部門でもポジティブな傾向が見られた。

報告書の別のトピックとして、国際基準に従った統計報告とデータ収集方法の改善のために行われている作業についても紹介された。

統計国家委員会議長はまた、2022年12月17～27日にかけて、「2022年国勢調査：結束、幸福、明るい未来」という標語を掲げ、然るべきレベルで行われた、人口・住宅に関する総合的な国勢調査について紹介した。この調査はデジタルシステムを用いて実施されたとのことである。

国家元首は会議の参加者に向けて、「2022～2028年の国家社会経済発展に関するトルクメニスタン大統領プログラム」を成功させるために、2023年度の国家社会経済発展に関するプログラム案が起草されたことに言及した。

同プログラムでは、今年度のGDP成長率を6.5%まで引き上げ、国家経済の諸分野および国内地域を着実に発展させ、生産能力をフルに発揮し、近代的な企業を建設することにより約3,000人の新規雇用を創出することが定められている。

同時に、貿易高を194億ドルまで増加させることが計画されているとセルダル・ベルディムハメドフ大統領は続けた。

また、中小企業の発展についても規定されている。GDPに占める民間部門の割合(燃料・エネルギーコンプレクスは含まない)を71.3%に引き上げることが予定されている。

さらに、優先事項として、国民の所得を増やし、給与、年金、国家給付、学生奨学金を10%増やすことにより、国民の社会生活環境を向上させるとトルクメニスタン元首は述べ、このプログラムを承認する法令に署名した。

続く会議の中で、セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、H.ゲルディムイラドフ副首相に対し、国家経済の基盤強化、経済への革新的技術の導入による新しい産業分野と生産の創出、経済における民間部門の割合増加のための効果的な作業を継続するよう指示を出した。

続いてSh.アブドラフマノフ閣僚会議副議長より、2022年の所管分野の成果、石油・ガスコンデンサートの生産分野で達成された技術・経済指標についての報告が行われた。

報告によれば、同期間中、石油精製所のトルクメンバシ・コンプレクスにおける石油精製計画は108.1%で達成され、ガソリンの生産は114%、ディーゼル燃料は109.4%、瀝青は150.3%、ポリプロピレンは116.5%、潤滑油は106%、液化ガスは105.1%で達成された。

また、天然ガスおよび随伴ガスの生産計画の実行は112.7%、「青い燃料」の輸出は122.8%、投資履行率は105.5%との情報が提示された。

この報告を聞いた後、セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、他の職務への転任のため、Sh.アブドラフマノフの職を解いた。

国家元首は、A.ベグリエフを石油・ガス問題担当閣僚会議副議長に任命し、トルクメニスタン大統領石油・ガス問題担当顧問の職を解いた。

大統領は、ベグリエフの新職務における成功を祈り、関連文書に署名した後、経済の主要部門の1つである石油・ガス産業における今後の業務の有望分野に焦点を当てた。優先計画の中には、国内外の消費者に天然ガスを確実に供給するための対策を引き続き講じること、ガルキニシュ・ガス田の産業開発を加速させること、カスピ海の海域探査と開発に外国企業を誘致することが含まれていた。

トルクメニスタン～アフガニスタン～パキスタン～インドを繋ぐガスパイプラインの建設も視野に入れるべきであると国家元首は強調し、すでに開発されている油田の作業を継続し、石油の増産を図るよう指示を出した。

同時に、トルクメンバシ製油所コンプレクスとセイディ製油所の能力を向上させ、これらの企業において新しいハイテク生産を確立するための適切な措置を実施することの重要性も強調された。

セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、有望な炭化水素貯留層の探査と調査、有用な固体鉱物、建設資材、地下水の地質調査を引き続き積極的に行う必要があると述べた。

また、石油・ガス産業の専門家の体系的な専門能力の向上、デジタル技術の導入、そして石油・ガ

ス産業が環境と健康に及ぼす悪影響の軽減という問題に、特別な注意を払う必要があると強調した。

Ch.プルチェコフ閣僚会議副議長は、2022年の建設・産業・エネルギーコンプレクス、国営コンツェルン「トルクメンヒミヤ」、国家自動車道路建設管理庁、アシガバード市役所の活動の成果について報告を行った。

昨年度、建設・産業部門における製品の生産と工事の実施に関する計画は136%達成された。

報告年度中、建設・建築省は、作業計画を115%達成した。

同期間、工業・建設省の製品生産・作業実施に関する計画は、159.4%達成された。

昨年、エネルギー省は、製品生産と実施作業に関する計画を131%達成した。電力生産の成長率は109.3%に達し、輸出は124.6%に達した。

国営コンツェルン「トルクメンヒミヤ」は、この間、製品生産とサービスに関する計画を135.5%達成した。

国家自動車道路建設管理庁は、作業とサービスに関する計画を100.9%達成した。

2022年のアシガバード市役所での業務とサービス提供に関する計画は、123.5%達成された。

昨年、全国で76の生産・社会的目的の建物や施設が開設された。

副首相は、国家元首の委任により2023年の建設投資プログラムが作成されたことを報告した。同プログラムでは、産業施設および住宅、療養所・保健センター、幼稚園、自動車専用道路、水道・ガス・電力供給システム、通信システム、浄水施設といった非製造分野の建設に多額の投資が向けられる予定であると述べた。

これに関連し、政令案「2023年のトルクメニスタン投資プログラムの承認について」がセルダル・ベルディムハメドフ大統領に提出された。

会議において国家元首は、他の職務への転任のため、Ch.プルチェコフ副首相を現職から解いた。

セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、B.アンナムメドフを建設担当閣僚会議副議長に任命し、工業・建設大臣の職を解いた。

セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、アンナムメドフの新しいポストでの成功を祈り、関連する法令に署名し、副首相に具体的な任務を与えた。

それは前述のごとく、国のエネルギー政策に基づき、電力生産の増加、国内外の消費者への電力の安定供給のための新しい発電所の建設、また「グリーン」電力産業の発展、太陽光発電所の建設に引き続き取り組むことである。

建材産業の生産基盤を強化するため、既存企業の生産品目を拡大し、新たな生産を立ち上げる必要があると、国家元首は強調した。

大統領は、国家経済の重要な部門の1つである化学産業の重要性を強調し、既存の化学産業企業の設計性能をフルに発揮させ、その近代化と能力向上を図るとともに、新たな企業を創出する必要性を指摘した。

セルダル・ベルディムハメドフ国家元首は続けて、建設業も主要産業の1つであると述べ、産業・社会・文化施設、また近代的で快適な住宅の建設に向けた作業を今年も継続するよう命じた。さらに、

今年はアハル州のアルカダグ市の完成が予定されている、とトルクメニスタン大統領は述べ、副首相に対し、開市式に向けて適切に準備するよう命じた。

自動車専用道路の建設に関しては、国が自動車専用道路と国際輸送回廊のネットワーク拡大に向けて取り組んでいることに留意する必要がある。新しい自動車専用道路の建設と古い自動車専用道路の再整備を継続し、国際基準に合わせる必要があると国家元首は述べた。

会議中、「2022～2028年のトルクメニスタンの社会経済発展に関するトルクメニスタン大統領プログラム」および「国家農村プログラム」を成功させるため、2023年のトルクメニスタン投資プログラム案が起草されたことが強調された。同法案によれば、あらゆる資金源からの国家経済への投資額は、374億マナトに達する見込みである。

会議参加者による拍手のなか、セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、2023年の投資プログラムを承認する政令に署名した。

B.アトダエフ閣僚会議副議長は、2022年の貿易コンプレクス、繊維コンプレクス、また起業セクターに関連する省庁の業務の成果について報告を行った。

貿易・対外経済関係省に関しては、貿易高が106.6%、生産高が102.6%の伸びとなった。

2022年、繊維産業省の各企業が製造した製品の量は、綿糸と織物がそれぞれ123%と130.1%相当で、縫製品とニット製品が108.4%、革製品が109.4%である。

国営公社「トルクメンハルイ」による絨毯製品の生産計画は、115.4%の水準で達成された。

国営商品・原材料取引所では、昨年300件の入札を行い、それにより3万7,734件の契約が登録された。

報告期間中、商工会議所が実施した業務の成長率は128.2%であった。19の展示会と67の会議が開催された。

産業家・起業家同盟の2022年の成長率は、農産物・食品の生産高で153.1%、工業製品で110.3%に達した。

報告を聞いたセルダル・ベルディムハメドフ大統領は、生産能力の向上、繊維産業の近代化、国内市場での新しい繊維製品の販売とその輸出に関する作業を継続するべきだと指摘した。

また、手織り絨毯の開発、絨毯の種類増加、そして古代の精巧なトルクメン・ギョルの復元のためのさらなる対策の必要性が強調された。また、消費財の国内市場における手頃な価格の保証も重要な課題として挙げられた。

さらに、トルクメニスタン元首は、民間部門の発展が注目されていると述べ、非国営部門が輸入代替品や輸出向けの商品を生産していることを、満足をもって確認した。国家経済のさらなる持続可能な成長は、この分野の活性化にかかっているとセルダル・ベルディムハメドフ大統領は述べ、あらゆる分野で民間部門の拡大に向けた作業を継続するよう指示した。

閣僚会議付属運輸・通信庁のM.チャキエフ長官が、2022年に所管機関で行われた作業の結果について報告を行った。

上記コンプレクスで提供されたサービスと実施された作業に関する報告期間の計画は、120%達成された。

全輸送手段における貨物輸送・旅客輸送の成長率はそれぞれ103.7%および105.9%で、貨物輸送・旅客輸送の売上高はそれぞれ102.1%および167%となっている。

昨年のサービスの伸び率:トルクメニスタン国営鉄道では102.8%で、鉄道による国際通過貨物輸送量は128.3%、トルクメニスタン自動車運輸庁は128.8%であった。昨年度に我が国の領土を通過した国際トラックは、4万260台が記録されている。

報告期間中、トルクメニスタン航空のサービス増加率は196.8%、トルクメニスタン海上・河川運輸庁で109.1%、トルクメニスタン通信庁で107.9%であった。

続いて、「2019～2025年のトルクメニスタンにおけるデジタル経済発展のコンセプト」から生じる課題解決に向けた作業に関する情報が提供された。

また、この間、トルクメニスタン～アゼルバイジャン、トルクメニスタン～ウズベキスタン、トルクメニスタン～カザフスタン、トルクメニスタン～ロシア間の物流分野における協力促進に向けた合同委員会が設置され、その枠組みの中で多くの会議が開かれた。

報告書のまとめとして、セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、国際トランジット回廊ルート of 拡充、旅客・貨物輸送量の増加と質の向上、輸送・通信分野におけるあらゆるサービスの増加などを、輸送・通信産業のさらなる発展のための優先課題として定めた。

また、同国の鉄道システムの近代化のために適切な作業を継続的に行うべきであることが指摘された。これに関連して、同庁の長官は、鉄道部門の潜在能力を高めるため、電化鉄道の建設に関する適切な提案を準備するよう指示された。国家元首は、将来的な計画として、自動車輸送企業の保有車両を最新のバス、タクシー、様々な種類のトラックで体系的に補充することと、このシステムに電気自動車を導入することを定めた。

セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、通常 of 航空交通を以前のレベル、すなわち制限措置導入前のレベルに戻し、経済的により有益な新しい目的地への国際便を開設し、貨物ルートを拡大する活動を継続するよう命じた。

また、トルクメンバシ国際海港の能力を拡大し、バルカン造船・船舶修理工場でさまざまな用途の船舶の建造を軌道に乗せるよう指示した。

また、時代の実情に合わせ、国の通信部門を恒常的に近代化するよう、別途指示が出された。

(中略)

A.ヤズムイラドフ閣僚会議副議長が、2022年の所管部門の活動結果、また農業における改革の進捗状況、各州で進行している季節作業についての報告を行った。

報告されたように、全体として、農産コンプレックスにおける生産量の成長率は104.8%に達した。農業・環境保護省では104.9%、国家水利委員会では103.9%、国営公社「トルクメンアトラリ」では104.7%に達した。

報告期間中、パンおよびベーカリー製品生産の成長率は102.4%、ジャガイモ栽培は130.4%、野菜は115.2%、ウリ類は109.2%、果実・ベリー類は107.2%であった。投資履行に関しては、年間計画の122.2%の水準で実施されている。

副首相が報告したように、ここ of ところ69万ha of 小麦畑でミネラル肥料が投与されている。綿花やその他の農作物の栽培地58万haを含む春の播種に向けた土地の耕起、整地、機械や設備の修理が

行われている。

水利国家委員会は、各州知事とともに、水の供給を改善し、河川と灌漑システムの安定した水流を確保するために適切な措置を講じている。

養蚕業の発展および繭の増産を成功させるため、農業・環境保護省が各州庁とともに2,300tの繭を生産する内容を盛り込んだ政令案が、国家元首に提出された。

報告を聞いたセルダル・ベルディムハメドフ大統領は、トルクメニスタンにおける2023年の蚕繭生産に関する法令に署名した。

国家元首はA.ヤズムイラドフ副首相に対し、農業部門は農産物や商品、原材料の生産をさらに増やし、国民に食料を十分に供給し、潤沢な食料さを用意し、加工産業のための原材料の供給を増加させるべきだと強調した。

農作・園芸分野では、高収量の作物と果樹の品種開発に力を入れるべきだとセルダル・ベルディムハメドフ大統領は述べ、養蚕業と高品質の絹製品の生産を発展させるために実践的な措置をとるよう命じた。

国内の畜産業を発展させるためには、この分野で使われている先進的な手法を継続し、革新的な技術を導入することが必要であると、国家元首は強調した。

続いて会議では、食品産業企業の近代化の重要性が述べられた。

トルクメニスタン大統領は、水資源の合理的利用に対する管理強化に特に重点を置き、水資源の追加備蓄のための作業を継続するよう指示した。

セルダル・ベルディムハメドフ国家元首は、カスピ海における浄水施設の建設において、迅速に適切な作業を行うことが重要であると述べ、そのための投資と融資を誘致するよう副首相に指示した。

同時に、国内の各地域で行われる季節ごとの農業キャンペーンを、予定されたスケジュールに従って高い品質で管理することも命じた。その際、農業技術規定を遵守することが肝要であると、トルクメニスタン元首は述べた。

閣僚会議副議長であるR.メレドフ外相は、昨年度の外務省の活動結果について報告を行った。

同期間中、「2022～2028年の中立的なトルクメニスタンの外交政策コンセプト」を実施し、設定された課題を達成するために一貫した作業が行われた。

国際協力の発展において、首脳レベルの訪問と交渉に重点が置かれた。2022年の間に、トルクメニスタン大統領は、ロシア連邦、イラン・イスラム共和国、ウズベキスタン共和国、キルギス共和国、カザフスタン共和国、サウジアラビア王国、アラブ首長国連邦、カタール国を含む11カ国への国家訪問、公式訪問および実務訪問を行った。

上記期間中、トルクメニスタンは9度の国家元首または政府首脳への訪問を受けた。インド共和国、アゼルバイジャン共和国、カザフスタン共和国、イラン・イスラム共和国、ロシア連邦、ウズベキスタン共和国、トルコ共和国の各国大統領がトルクメニスタンを訪問し、ジョージアの首相も我が国を訪問した。

セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、数カ国の首脳と電話会談を行った。

祖国の外交政策の重要な分野の1つに、議会間関係の発展がある。この文脈において2022年5月

12日にアシガバードで開催された中央アジア諸国およびロシア連邦との第1回議会間フォーラムは、重要なイベントであった。

報告期間中、208名の外国代表団が外務省を通じて我が国を訪問した。同時に、トルクメニスタンから383名の代表団が海外に派遣された。

去年は2,304件の様々な会議がオンラインで開催された。また、トルクメニスタンでは外国パートナーとの公式な会談や会見が676回開催された。2022年度中、203の国際文書に署名がなされた。

外交政策機関を通じ、協議や会見が組織的に実施された。

外国や国際機関とトルクメニスタンとの間の貿易・経済関係を強化するために、計画的な措置がとられた。去年は9つの二国間政府間委員会の会議およびそれらの共同議長との会見が開催された。

「2020～2025年のトルクメニスタンの対外経済活動プログラム」、「2021～2030年のトルクメニスタンの対外貿易戦略」、その他の関連文書を実施するための一貫した作業が行われた。

セルダル・ベルディムハメドフ大統領は報告を要約し、善隣関係、平等、互恵的な協力に基づく外交政策のさらなる実施の重要性を強調した。同時に、地球の平和と安全を継続的に強化する必要性についても言及した。

トルクメニスタン元首が強調したように、世界各国や、権威ある国際・地域機関との貿易・経済、文化・人道的、科学・教育関係を促進しなければならない。

(中略)

その後再び登壇したR.メレドフ副首相兼外務大臣は、本日の拡大閣僚会議で採択された決定事項や、国家元首が署名した、祖国の未来のダイナミックで総合的な発展および国民の福利の向上のための一連の文書の重要性を強調した。

前述の通り、中立国トルクメニスタンの外交戦略は、何世紀にもわたってトルクメニスタン人の特徴となっている平和、善隣、ヒューマニズムの原則に基づいている。

このことは、大地震によって被害を受けた兄弟国であるトルコ共和国の人々に、セルダル・ベルディムハメドフ大統領の指示によって送られた人道的支援が証明している。友好国の指導者と国民に対し、深い哀悼の意と心からの同情の言葉、そして支援が示された。トルクメニスタンの国家指導者である人民評議会議長グルバングルィ・ベルディムハメドフが、今週アシガバードのトルコ共和国大使館を訪れたことも、国家間関係を結びつける友情、兄弟愛、相互援助のゆるぎなさの証左である。

災害の犠牲者の中には子どもたちも含まれる。このことを念頭に、英雄アルカダグのイニシアチブにより、ケアを必要とする子供たちに援助を提供するためのグルバングルィ・ベルディムハメドフ慈善基金の費用で、トルクメン人女性が彼らを支援する取り組みが行われている。この件に関し、副首相兼外相は、トルクメニスタン大統領並びにトルクメン人の国家指導者である人民評議会議長に向かって、トルクメン社会の高貴な伝統を強化するためのたゆまぬ献身的な努力に対する、心からの感謝の意を表明した。

国家元首は、他民族の苦衷に際し、これを支援するという伝統は、何世紀にもわたってトルクメン人の間に存在し、世代から世代へと受け継がれてきたと強調した。国家の精神に組み込まれたヒューマニズム、思いやり、相互支援の原則に導かれ、トルクメニスタンは、多数の死傷者と大規模な破壊をもたらしたトルコの自然災害のニュースに直ちに反応し、数世紀にわたる共通の歴史的ルーツ、

文化、精神価値によって結ばれている兄弟国人民に対し、人道的支援を差し向けた。我々は、必要に応じて支援を提供し続ける、とセルダル・ベルディムハメドフ大統領は述べた。

その後の拡大閣僚会議において、国家元首は演説を行い、2022年の成果を総括し、今年国が直面する優先課題を概説した。

すでに述べられたように、我が国民の献身的な働きのおかげで大きな成果が得られ、「アルカダグと共に生きる国民の時代」を標語とする昨年度の計画のほぼすべてが実現された。

また、時代の実情に対応した法令の立案と施行も継続された。

「我々は、国家経済の高い成長率を維持することができた」とセルダル・ベルディムハメドフ大統領は述べ、国内総生産がこのように6.2%成長したことを、満足をもって確認した。特に工業部門は6.3%、貿易部門は8.9%、農業部門は5.7%の成長率を記録した。投資額は前年度比14.2%増、輸出額は前年度比43.6%増となった。

この間、4,000人の新規雇用が創出された。インフレ率を規定値内に抑えることに成功した。

祖国の力と競争力を強化するための新たな一歩が踏み出された。

昨年は、76の生産・社会施設が様々な財源を投入して開設され、農家は豊かな収穫を行い、国内市場の食糧安全保障を維持することが可能となった。

トルクメニスタン元首は、都市、農村、そして国全体の様相は、種々の政府プログラムの実施により変化していると述べ、必要なインフラをすべて備えた近代的な村が「国家農村プログラム」にしたがって建設されていると強調した。

昨年使用に供された住宅の総面積は150万㎡を超えた。その結果、低所得者を含む数千の家庭が、新居への入居を祝うこととなった。

また、科学と教育の分野では重要な改革が見られ、近代的な幼稚園や高等専門教育機関、医療、文化、スポーツ施設が建設された。

市場経済への移行は着実に進んでおり、この点で、我々は私有財産の比率を大幅に高め、民間部門や起業部門の発展に対する障壁や制約を取り除いており、最終的に経済における国家の関与レベルを下げるよう努めていく、とセルダル・ベルディムハメドフ大統領は満足をもって確認した。

同時に、今年度の国家予算がバランスよく採択されたこと、賃金、年金、国家給付がまたしても増額されたことについて言及した。

2022年に国連加盟30周年を迎える中立国トルクメニスタンの国際的名声は着実に高まっており、国連とのパートナーシップは当初より戦略的な性格を持っていたと国家元首は強調した。この点に関して、中立国である我々が祖国は、これまで何度も総会の副議長に選出され、国連の下部組織である評議会、委員会のメンバーにもなっていることが強調された。

我が国は、国際社会と協調し世界的な課題である重要問題の解決策を講じる責任を果たしてきた。

トルクメニスタンの外交成果について、セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、総会が、トルクメニスタンの提唱した「2023年—平和の保証としての対話の国際年」および「平和、信頼、協力の地帯としての中央アジア」の両決議、また2025年を「平和と信頼の年」と宣言する提案が採択されたことに触れた。

また、他の主要な国際的・地域的団体や組織との交流が生産的であったことも確認された。

昨年は、中央アジアおよびカスピ海地域におけるパートナーシップというテーマが特に注目された。協力の全領域にわたる地域の絆の強化、調和のとれた発展のための各国の努力の結集、国際的尺度における地域全体の地位の強化などが、サミットの主目的となった。

トルクメニスタンは、その外交戦略において、国際社会のメンバーや国際機関との多面的な交流を一貫して拡大し、全方位外交の実現を大いに目指してきた。

議会外交は、国益の保護、国際的パートナーシップの拡大、法の支配の確保のために当局が実施する業務の体系の一部であり、経済的利益の促進や国際舞台における我が国にとって好ましい環境の形成とも結びついているが、2022年、英雄アルカダグのイニシアチブにより、トルクメニスタンの議会外交に新たな弾みがつけられた。

「我々は建設的な対話の方針を継続し、国家と国民の利益を守るために、あらゆる努力を惜しまない」とトルクメニスタン元首は述べ、我々のすべての成果と勝利は、現在の政治路線へのトルクメニスタン国民による幅広い支持と、進歩的改革の実施への彼らの積極的参加のおかげで初めて可能になったと強調した。

この点に関し、セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、独立した祖国の多大な成功に積極的に貢献した各省庁のトップらや、一般労働者に心からの感謝の意を表明した。

毎年、我々はその年の標語を掲げている。今年の標語は「アルカダグ・セルダルと共にある幸せな若者たち」である。その内容とメッセージは、愛国心を高め、若者の教育と支援を促進し、祖国のさらなる発展に関するプログラムやプロジェクトを実施し、母国の人々の経済力と生活水準を高めることを呼びかけている、とトルクメニスタン元首は述べた。

セルダル・ベルディムハメドフ大統領が強調したように、この状況は我々にも特別な責任を負わせるものであり、我々はこの標語の真髓を実現させるために多くのことを行い、あらゆる努力をしなければならない。

この点に関して、若い世代の代表者らが潜在能力を発揮して一人前になるのを支援するために、住居や教育を手の届くものにする、雇用の確保、起業家精神の育成、若い家族の支援など、あらゆる条件を整えることが必要であることが確認された。また、若者のビジネスに的を絞った投資の重要性も指摘された。

国家元首は、これらの取り組みによって、若い市民が地域や国全体の統治や開発に参画できるようになると述べ、大統領付指導者予備軍の形成に向けた取り組みの必要性を強調した。今日、我が国の若年層は、社会・政治問題においてますますイニシアチブを発揮し、社会を構成する独立した一員として、国家生活において重要な役割を担っている。セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、「彼らは、改革プロセスにおける主要な戦略的力である」と強調した。

今後国家の命運に対する責任は、今日の若者の肩にかかってくる以上、設定された目標を達成するために、真の愛国心を発揮し、献身的に奉職し、質の高い教育を受けることが彼らに求められている。トルクメニスタンの発展において決定的な役割を果たし、進歩の原動力となるべきは彼らであると、国家元首は指摘した。

今年度の大規模プログラムが採択された。本件に関し、2023年にはあらゆる資金源から374億マナトが国家経済に投資される予定であることが確認されている。生産施設の建設に208億マナト、社

会的施設の建設に166億マナトが予定されており、それぞれ国内総投資額の55.6%、44.4%に相当する。

今年は、すべての資金源を用いて、105万8,500㎡の住宅が入居に供される予定である。投資プログラムでは、国民の社会・生活環境を改善するために、首都と地方で数多くの建物や施設が建設される予定である。例えば、アシガバードでは、160床の国際小児科センター、口腔科センター、500床の国際腫瘍学科学・臨床センター、4000席の文化センターが着工する予定である。

また、トルクメニスタン大統領付属公職アカデミーの建築コンプレックス、パラハット7団地の23棟のマンション、飲料水15万㎡の処理能力を持つ浄水場など、多くの建物がアシガバードで竣工する予定である。

さらに、地域レベルでは最大級のプロジェクトである、アハル州の新しい近代的な行政の中心地アルカダグ市の開市、ゲオクテペ地区のコペトダグ郡およびオヴァダンデペ郡での新しい村の開村、またアハルテケ種の馬600頭を収容するために設計された、近代的な厩舎の開所が予定されている。

先に述べられた通り、今年のアハル～バルカン間およびバルカン～ダショグズ間の高圧架空送電線、高速道路アシガバード～トルクメナバト線のテジェン～マリ区間、中学校15校、幼稚園3園が開設され、道路、通信・水・ガス・電力供給網の敷設、浄水場の建設にも多額の資金が割り当てられる予定である。

今年、多くの優先分野に多額の資金を投入し、主要産業の技術的近代化に数十億マナトを割り当てるとともに、経済管理構造の改善と若い人材の育成を継続する必要がある、とセルダル・ベルディムハメドフ大統領は強調した。

すでに述べられたように、この1年間は、いくつかの大きなイベントが開催され、他国の指導者が率いる代表団を迎え入れ、多くの国際フォーラムが開催される予定である。

「ご覧の通り、今年のプログラムには非常に多くの仕事が含まれている。従って、祖国の発展の成功には、新しいプロジェクト、斬新なアイデア、統治上の決断が必要である」とトルクメニスタン元首は続け、2023年に計画されているすべての新しい高みは、国民と一緒に無私の心をもって働くことで達成されると確信していると表明した。

セルダル・ベルディムハメドフ大統領は、拡大閣僚会議の結果を総括し、全員の健康、家庭の平穩、そして今後の責任ある仕事での成功を祈った。